

想いよ届け!



第3回 山梨ダウン症フォーラム

日本ダウン症協会山梨県支部「芝草の会」主催
「芝草の会」創設40周年記念事業
「世界ダウン症の日」(WDS D)関連事業
2012年から、国連が、国際デーの一つとして3月21日を「世界ダウン症の日」に制定しました。
「親子のケアとサポートのよりよい体制づくりに向けて」

テーマ 「接し方、かかわり方」

- 場 所 山梨大学医学部キャンパス 大講堂 (409-3898 中央市下河東 1110)
- 日 時 2016年 2月 20日 (土) 開場 12:30 開演 13:00~17:00
- 講 演 **長谷川知子先生** 臨床遺伝専門医・小児科医師
いでんサポート・コンサルテーションオフィス
石上志保先生 言語聴覚士 世田谷区総合福祉センター
清野(せいの) 弘子様 JDS 相談員
- 対 象 ダウン症のあるお子さんを育てているご家族の方、
医療・保健・保育・教育・福祉、障害者就労支援に関係する方、
芝草の会会員、このテーマに関心がある方
- 定 員 100名
- 参加費 500円…※ 託児なし。バギーなどでのお子様連れの
入場も可能です申込時にお伝え下さい



ゆっくり育つ子供達をあせる事なく見守り支援する、自分の意志をうまく伝えることができずに生じてしまう健康面・精神面の問題など、それぞれの時期の課題にどう関わり支援するのか考えましょう。

講師の先生方からのメッセージ

いでんサポート・コンサルテーション オフィス 臨床遺伝専門医 小児科医師 長谷川知子先生

『私は、40年以上、ダウン症のある赤ちゃんから年配者まで何千人の方々とおつきあいしてきました。その経験と多くの文献から、多くのダウン症の人達が特殊視されているために特殊な存在になってしまい、人間として当然育てられるべき要素、つまり、感覚と感性、相互コミュニケーション、思考力と判断力、復元力、社会性などが充分育っておらず、潜在的な能力が発揮できていないことが、成人で生じる問題の一番の要因と考えています。』

世田谷区立総合福祉センター 言語聴覚士 石上志保先生

『「言葉を育てるために」・・・言語聴覚士として療育センターや病院、施設などで働いて十数年、ダウン症のある子の母親になって七年が経ちました。この子供たちの言語・コミュニケーション能力は、まだまだ十分に発揮されていない、原因は何だろう、どう働きかけたらいいんだろう?そんな疑問に向き合い続けています。』

日本ダウン症協会理事・知的障害者相談員・大田区親の会キャロットクラブ相談員 清野弘子様

『子供が5人で、長男がダウン症のある28歳の息子です。長男に起きた成人期の問題を乗り越えてきました。その経験を通して、ダウン症のある方達がより良い成人期を過ごす為に、どのように関わっていくことが大切かを伝えていきたいと、主に成人期問題に取り組んでいます。』

問い合わせ・申込先 山梨大学大学院総合研究部成育看護学講座 中込さと子
snakagomi@yamanashi.ac.jp 090-3912-7797 申し込み先 FAX: 055-273-8457